

1月の展示情報

開催中
～3/19(木)[出張展示] フォトスタジオ
スズトヨ写真展好評のため、秋に続き、冬の写真展も開催中です。
プロの写真が切り取る冬の情景、ぜひ見においでください。会場 | にぎわい番所ぶらっと(旧野口燃料)
平日月～金曜/9:00-17:00 *最終日3/19は15:00まで開催中
～3/22(日)Kamran Samimi 個展
「記還
- RECOLLECTION -」
from アメリカ合衆国

昨年5月に1か月間の滞在制作を行ったKamran Samimiさんによる作品展。土や草を被って”忘れられていた”石や木に焦点を当て、それらと対話を重ねる中で生まれた作品たちです。

Kamranさんが一旦帰国し、芸術村を去った後も、芸術村に残された石や木の作品群は、まるでこの場所の新たな住人のように存在し続けていました。

再び来町して設営を行った作品は、木造のスペースに溶け込み、人工物の中に自然との共生を感じさせます。

石と木が織りなす銀河のような作品をぜひ、ご覧ください。



交流会も大盛況！あたたかい夜でした。



交流会では、西会津の食材を使った料理がながら、場者は演奏に聞き入っていました。

交流会での料理がなかなか夜になりました。

西会津の冬の空間をあたたかく包み、来場者は演奏に聞き入っていました。

謹賀新年



旧年中は、大変お世話になりました。公募展が20回目を迎えた2025年。お迎えした滞在アーティスト35名、展示およびパフォーマンスの企画は22件開催することができました。ご来館くださった皆さま、ありがとうございました。

芸術村は午年生まれのスタッフが3人！
パッカパッカと飛び越えて飛躍の年になりますように。

全戸配布

2026
1月号

西会津国际芸術村



1月の休館日

定例休館日(月)(火)

13(火)

19(月)、20(火)

26(月)、27(火)

12(月・祝)は休まず
開館します。開催中
～3/15(日)Laura Prochowski
Alisha Redmond
from オーストラリア

抽象風景画・油彩画家であるLauraさん、現代クラシック作曲家、ピアニストであるAlishaさんによる「自然の共鳴を探る学際的なコラボレーション『LAND MINDS』と名付けられたプロジェクトは日本においても特別な意味をもつ”3”という数字に着目し、構想されています。テーマや、色や曲など作品においても3つであることが意識され、初めての日本、初めての西会津町で、土地の風土を知り、地元との交流を通して制作されたものです。

西会津の冬景色の中で、あたたかく染み込む色と音楽を奏でています。

開館時間：10:00-17:00
入館料：町民無料
*町外の方
大人300円 / 小人100円
未就学児は無料

年始
休館日1月7日（水）まで休館
1月8日（木）より
開館いたします

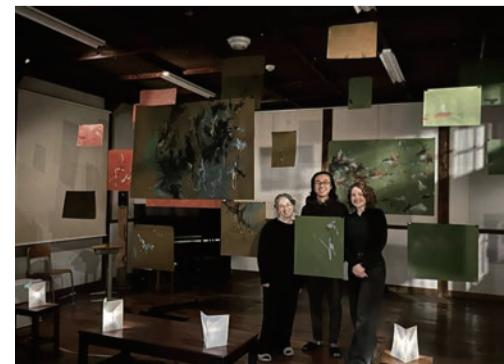
1月25日(日) 10:30～12:00



会津特産のオタネニンジンと冬の体にぴったりの8種の薬膳素材でシロップづくり。健康のお守り自分で作ってみませんか？

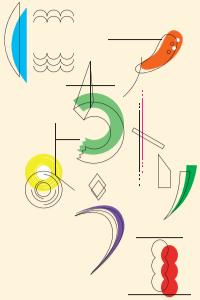
参加費：3,500円 定員：10名
*申込み〆切：1/23

滞在制作発表
パフォーマンス



寒い中、約20名が来場くださいました





“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

12月のアトリエでは、師走ならではの内容を町内の方に講師をお願いして開催しました。奥川の片岡元次さんによる「もとじさんと作るお正月飾り」のレポートです。

元次さんは、山のこと自然のこと教えていただきたり、花や野菜の差し入れなど、日頃から芸術村はとてもお世話になっています。ヒロロという植物も、「わっさ」という言葉も、元次さんから教わりました。ヒロロは野山に自生していて、決まった季節に刈り、乾燥させ、縄にしていきます。今は「ヒロロ細工」という名前で、とても繊細な手工芸として認知度も高まっていますが、昔は子供たちが朝からちよこつと作業するような、そして何気なく使っていたような、日常に密接したものだったそう。

さて。初めて「絢う」という作業に取り組んでくれた参加者が、コツを掴むと面白いように全員が没入していきます。心地よい集中力と達成感で、嬉しい気持ちと「もつとやりたい」が止まりません。さらに、これをお正月飾りにしていく工程では、実物や葉を組み合わせて、新年を迎える準備が一つ、整いました。時間をかかりますが、子ども達が表現を通して社会を知っています。これからも応援していきたいなと思います。



にちようアトリエ 1月

1/4 1/11 おやすみ

1/18 「マスキングテープで窓飾り！」

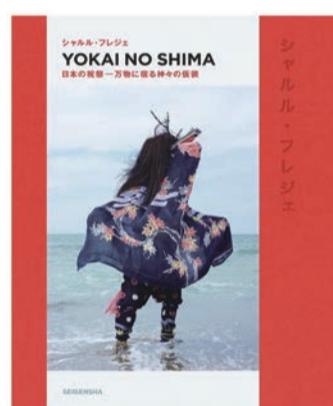
マステといったら今やみんな持ってるお手軽素材！そんなマステで芸術村の窓をデコっちゃおう！おうちに持ち帰る分も作ります！手も汚れないし、小さなお子さんでもできる簡単表現♪こころ踊る！色々なマステをご用意してお待ちしています――！

1/25 おやすみ

薬膳シロップのワークショップがあります！

にちようアトリエは、日曜日の13:30～15:30に開いている子供をメインとした自由な遊びと学びの時間です。参加は無料、予約も要りません。また、時間内の出入りも自由です。気軽にふらりとご参加ください。

スタッフおすすめ 今月の本



この本は、「じぶんカフェ」にて、お読みいただけます。

YOKAI NO SHIMA

著: シャルル・フレジエ 発行: 青幻舎

芸術村スタッフがオススメの本を紹介。日本各地の祭りや年中行事は、その土地独特的個性的な衣装や風習があります。急け者の子どもたちを探しに地元に降りてくる神々や村人たちが豊穣を願つて水をかける、わらに覆われた若者。鬼の面をつけて家々を回る神々など、そこに登場する人ならざる存在や郷土芸能の衣装を撮影した本書。多くのカメラマンが撮影するような祭りに登場する場面ではなく、その土地の風景を背景として撮影することで、その衣装をまとった存在がより「妖怪」として際立つて見えるところがとても新鮮で、「妖怪の島ニッポン」という世界観が強く印象づけられる本です。



美味しいものの季節のコトとかいろいろ...

12月初めの雪景色。青空とのコントラストが最高に美しい風景でした。毎年、雪が降る頃はいつくるか、ドキドキした気持ちでいるのですが、雪が降ると、やはり美しくて見とれてしまいます。雪国に何年住んでも感動するというのは、自然のつくる景色のすごさなんだろうなと思う一方で、人間が持つ「忘れる」という能力もまた、そこに加担していると感じます。

そして、今年もまた、雪景色に感動して写真を撮ってしまうのです。



インスタ日誌



今年も、芸術村の雪囲いをみんなで設置しました。年を重ねていて、壊れたりして、ちょっとずつ直しながら取り付けました。

今はまだ雪がないので、見上げると青空だけが美しく見える窓のようになっていますが、今年は程よい降りであってほしいと願うばかり。

【HP】



【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】

1. 山芋は皮をむき、おろし金で円を描く
2. 鍋に分量の出し汁を沸かし、沸騰直前に味付け。
3. だし汁が沸いたら、弱火にしておろした山芋を落としていきます。途中、箸やお玉でそつと上下を返し、1～2分煮れば完成。器に盛り付け、青のり、またはおろし生姜を添えて召し上がれ。



【お問い合わせ】tel: 0241-47-3200
mail: niav.public@gmail.com
〒969-4622 西会津町新郷大字篠川上ノ原道上 5752